

## 「でき iPad。」の簡単設定マニュアル 対象 Ver2.2 以降

2013.8.21-&gt;2015.12.10

「でき iPad。」には、入力モードが多数あります。サポーターが簡単に設定できる方法をご案内いたします。いずれも、ペアリングを終えてからの作業になります。設定したモードは、「でき iPad。」の電源を OFF にしても消えません。設定後の再接続に最大で約 30 秒を要する場合があります。

スイッチコントロールで利用の際は、iOS の設定でスイッチのアクションを設定する必要があります。

ユーザーマニュアルの 7.スイッチコントロールの設定をご参照ください。

再ペアリングで、初期化されます。詳細は、ユーザーマニュアル基礎編のご一読をお願いいたします。

**スイッチ 1 個モード (LED 青) : スイッチ 1 個で、そのスイッチの ON の回数で操作したい (スイッチコントロール併用)**

ペアリング直後は、このモードになっております。他のモードからこのモードに戻る場合は、「Φ3.5 x 4 ユニット。」の②に接続したスイッチを ON しながら、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら、速やかにスイッチを OFF にします。LED が青 (緑) 点灯まで繰り返します。

「Φ3.5 x 4 ユニット。」の②に接続したスイッチを①に接続し直してください。SW 1 に接続したスイッチの ON の回数で、スイッチコントロールの外部スイッチ 1 からスイッチ 4 までと機能します。後述のスイッチ 1 個/2 個 (VoiceOver 併用 LED 赤点灯) モードと交互に切り替わります。

このモードでの利用の際は、iOS のスイッチ安定化の設定はオフにしてください。(スイッチ 2 回 ON が手振れと判断されてしまいますので) なお、この状態でスイッチコントロールを OFF にしますと、後述の海外アプリの利用も可能です。

**スイッチ 4 個モード (LED 青) : スイッチ 1 個か複数個または「できレバースイッチ。」で利用したい (スイッチコントロール併用)**

「Φ3.5 x 4 ユニット。」の④に接続したスイッチを ON しながら、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら速やかにスイッチを OFF にします。LED が青 (緑) 点灯まで繰り返します。ピロピロという音のあとに、4 回音が鳴りましたらスイッチコントロール対応モードです。LED が青 (緑) に点灯します。「Φ3.5 x 4 ユニット。」に 1 個から 4 個のスイッチを接続して利用します。

斜め方向もサポートしておりますので、「できレバースイッチ。」の利用も可能です。

スイッチコントロールで、グライドカーソルで利用される場合は、スイッチ 1 個か複数個の、この入力モードをご利用ください。スイッチ反応が速くなります。iOS の設定でスイッチのアクションを設定を行ってください。スイッチの長押しにも対応しております。

**スイッチ 1 個モード (LED 赤) : スイッチ 1 個で、そのスイッチの長短 ON で操作したい (VoiceOver 併用)**

「Φ3.5 x 4 ユニット。」の②に接続したスイッチを ON しながら、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら速やかにスイッチを OFF にします。LED が赤点灯まで繰り返します。②に接続したスイッチを ON して音が出なければ OK です。

②に接続したスイッチを①に接続し直してください。SW 1 に接続したスイッチのみが機能します。

**スイッチ 2 個モード (LED 赤) : スイッチ 1 個での長短 ON は難しいが、スイッチ 2 個の操作が可能 (VoiceOver 併用)**

「Φ3.5 x 4 ユニット。」の②に接続したスイッチを ON しながら、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら速やかにスイッチを OFF にします。LED が赤点灯まで繰り返します。②に接続したスイッチを ON して音が出れば OK です。SW1 が短 ON、SW2 スイッチが長 ON の働きをします。スイッチ 1 個モードで長短 ON が難しい場合、このモードをご利用ください。

**スイッチ 4 個モード (LED 赤) : スイッチ 1 個か複数個または「できレバースイッチ。」で利用したい (VoiceOver 併用・スイッチコントロール併用)**

「Φ3.5 x 4 ユニット。」の④に接続したスイッチを ON しながら、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら速やかにスイッチを OFF にします。LED が赤点灯まで繰り返します。

「Φ3.5 x 4 ユニット。」に 1 個から 4 個のスイッチを接続して利用します。斜め方向もサポートしておりますので、「できレバースイッチ。」の利用も可能です。LED が赤点灯の場合、サブメニューを利用しますと、16 通りの機能を利用できます。

**トーキングモード (LED 青) : トーキングエイド for iPad を操作したい (スイッチコントロールは OFF で利用します)**

「Φ3.5 x 4 ユニット。」の③に接続したスイッチを ON しながら、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら速やかにスイッチを OFF します。ピロピロという音のあとに、3 回音が鳴りましたらトーキングエイド for iPad モードとなり、LED が青 (緑) に点灯。

ピロピロという音がしない場合は、海外アプリモードとなります。

トーキングエイドの設定で、スイッチ A をスペース、B を h と設定してください。「Φ3.5 x 4 ユニット。」の③に挿入したスイッチは、①に接続し直します。SW1 と SW2 のスイッチ 2 個の対応も可能です。

**スイッチ対応アプリモード (LED 青) : スイッチ対応アプリを操作したい**

(1/Space/3/Enter キーで操作するアプリ) (スイッチコントロールは OFF で利用します)

「Φ3.5 x 4 ユニット。」の③に接続したスイッチを ON しながら、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら速やかにスイッチを OFF にします。同じ操作でトーキングエイド for iPad モードと交互に切り替わります。

なお、前述のスイッチ 1 個で、そのスイッチの ON の回数で操作したいの状態をでも利用できます。

このモードで利用できるアプリは、Voice 4 U や SoundingBoard など、さらに下記サイトにたくさんあります。

<http://www.janefarrall.com/html/resources/Switch%20Accessible%20Apps%20for%20iPad.pdf>

## 操作モードの設定の確認

接続したスイッチに触れず、「でき iPad。」の電源を入れると、スイッチ音と LED の色で確認ができます。

下記の音がして LED 青

ピロピロの音のあとにピッが 1 回：スイッチ 1 個モードでスイッチコントロール併用

ピロピロの音のあとにピッが 3 回：トーキングモード

ピロピロの音が無くピッが 3 回：スイッチ対応アプリモード

ピロピロの音のあとにピッが 4 回：スイッチ 4 個モード（レバースイッチ利用可）でスイッチコントロール併用

下記の音がして LED 赤

ブツの音のみ：スイッチ 1 個モードで VoiceOver 併用

ピロピロの音が無くピッが 2 回：スイッチ 2 個モードで VoiceOver 併用

ピロピロの音が無くピッが 4 回：スイッチ 4 個モード（レバースイッチ利用可）で VoiceOver 併用

